

地域防災を担う消防団 出初式



勢い良く噴き上がる一斉放水

1月18日、新春を飾る恒例行事として「いなべ市消防団・員弁連合消防団」の出初式が行われました。この行事は、消防団員の士気を高め、任務を成し遂げる決意を新たにすることを目的として毎年1月に開催される恒例行事です。

当日は、消防団員・消防職員・(株)デンソー・トヨタ車体(株)・(株)神戸製鋼所・太平洋セメント(株)の自衛消防隊員など約500人、車両38台が参加しました。



式典ではいなべ市消防団の小澤団長から「東海・東南海地震のような大規模災害に対し消防団の益々の充実強化が求められている」と消防団員に対し訓示されました。

式典後、員弁町畑新田溜で、新春の空に向け消防車両による一斉放水がありました。放水会場には多くの観客が詰めかけ、色とりどりの放水を見上げ歓声が響き渡りました。



小澤団長

◆消防団の歴史 ～出初式の由来～

消防団の歴史は古く、江戸時代に8代将軍徳川吉宗が、江戸南町奉行大岡越前守に命じて「町火消いは48組」を設置させたのが、前進だといわれ、鳶とびによる纏まといやはしごのりの妙技が出初式で行われるようになりました。明治の再編、昭和22(1947)年の消防団の公布を経て現在に至っています。

◆消防団員の募集 ～自分たちのまちは自分たちで守る～



減少傾向にある消防団員。世界で大災害が頻発するなかで、地域防災の要として消防団員が必要とされています。あなたの若い力が必要です。ぜひ、入団を！

入団資格 20歳以上で市に居住している方



問 員弁庁舎 総務課 T 74-5805 F 74-5800